

【専門科目】

次の3問から1問を選択し、答えなさい。

1、日本考古学において学史上重要な遺跡を一つあげて、その遺跡の学史における意義について述べよ。

【出題意図】

解答者の考古学研究に関する知識知識を問う。

【解答例】

日本考古学の学史上重要な遺跡として、青森県青森市に所在する三内丸山遺跡を挙げる。三内丸山遺跡は縄文時代前期末から中期にかけて営まれた大規模集落遺跡であり、1992年以降の発掘調査により多数の竪穴建物跡、掘立柱建物跡、長大な建物跡、貯蔵穴、土坑墓などが確認された。とくに巨大な柱穴をもつ大型掘立柱建物跡や多数の大型竪穴住居の存在は、縄文時代の集落が従来想定されていたよりもはるかに大規模で計画的であったことを示す。また、多様な動植物遺存体が出土したことにより、縄文時代の生業活動の実態も具体的に明らかとなった。さらにヒスイや黒曜石など遠隔地産の石材が確認され、広域的な交流・交易の存在も示されている。これらの成果は、縄文社会を単純な狩猟採集社会とみなしてきた従来の理解を大きく改め、縄文文化の社会構造や定住性を再評価する契機となった点で、日本考古学の学史において極めて重要な意義をもつ遺跡である。

2、文化財の科学的な調査研究について具体的な例を一つあげて、目的・内容・成果について述べなさい。

【出題意図】

保存科学の基本的な理念や知識について、その背景も含めて問うもの。

【解答例（概要）】

まず保存科学がどのような学問であるかの説明を要する。保存科学は美術、歴史、考古資料など文化財を対象にして、理系の知識や技術によって調査研究、保存を行うものである。それを踏まえたうえで、例えば絵画におけるX線や赤外線を使った下地の調査、蛍光X線分析などを用いた色材の調査、仏像のX線CTによる構造、内部状況の調査、考古資料に対する材質や構造調査、あるいは年代測定などの事例の説明を求めるもの。

考古資料を例にすると、埼玉県稲荷山古墳で出土した鉄剣が、透過X線調査によって115文字の象嵌が施されていることが明らかとなり、象嵌文字部分の蛍光X線分析で金と銀の合金が用いられていたが、そこには金、銀の配合比が異なる2種類の材料が使用されていたといった事例が挙げられる。加えて鉄剣自体の保存処理において脱塩処理や合成樹脂による強化が使われ、その後の保管においても窒素ガス封入ケースが使用されるなど、保存科学の知識や技術が用いられていることも重要な視点である。

3、鎌倉時代から江戸時代までの美術作品（彫刻・絵画・工芸など）のうちから重要な作品または作品群を一つあげ、その制作背景を示しつつ美術史上の意義を述べよ。

【出題意図】

解答者の美術資料と美術史研究に関する知識を問う。

【解答例】

和歌山県有田市の広利寺に伝わる重要文化財十一面観音立像は、腕を四本あらわした類例の少ない四臂十一面観音立像で、構造は寄木造とする。豪華な表面仕上げが特徴で、錆地に漆下地を施し、丹地を作って金泥を塗り、大ぶりの鳳凰や牡丹、雲、宝珠、海波や雷文、鳳凰円文、蓮華唐草文などを盛り上げ彩色であらわして、また精緻な截金による四ツ目菱入変わり七宝繋ぎ文や麻葉繋ぎ文などで地文様を埋め尽くす。

明治31年（1898）に美術院の新納忠之介らによって修理された際に像内に銘文が確認され、また法華経などの像内納入品が取り出された。その際に確認された像内の墨書銘によれば、本像が元は河内国の若江南条六辻郷（現、大阪府八尾市東部）の西方寺安置の像として、南北朝時代の正平8年（1353）に四天王寺仏師の頼円や頼基、実円によって造像されたことが分かる。

鎌倉時代からみられる金泥地に截金文様を表すとともに、南北朝時代の作例に多くみられる盛上彩色を効果的に組み合わせた作例であるとともに、制作時期と作者が判明する重要な基準作例といえる。

【英語】

【問題】

下の英文は、静岡県登呂遺跡に関するものである。
日本語に訳しなさい。

Toro Site is an archaeological site of a settlement dating back the Late Yayoi period, some 2,000 years ago. The site was discovered during the construction of a munitions factory in 1943, at the time of World War II. Thanks to the tireless efforts of everyone involved, an excavation was carried out in a short period of time. The discovery elicited considerable attention from academic associations, and it was the first time remains of rice paddy fields from the Yayoi period were found in Japan.

After World War II, a full-scale excavation was carried out from 1947 to 1950. In addition to unearthing a large number of artifacts such as earthenware and wooden implements, the excavation revealed that the settlement consisted of a dwellings area, with remains of houses, storehouses, and other structures, and a rice paddy area. This played a role in establishing the image of Yayoi people being wet rice farmers. The excavation also led to the formation of the Japanese Archaeological Association, so the site also marks the beginning of post-war archaeology in Japan.

※1 rice paddy fields : 水田

【解答例】

登呂遺跡は弥生時代後期、約 2000 年前まで遡る考古学の集落遺跡である。この遺跡は第二次世界大戦の時期、1943 年に軍需工場の建設に伴って発見された。関わったすべての人びとのたいへんな努力のおかげで、短期間に発掘調査が実施された。発見は学会からかなりの注目を浴び、それは弥生時代の水田跡が日本で初めて見つかったものであった。戦後、全体の発掘調査が 1947～1950 年に行われた。土器や木製品のような莫大な遺物が出土したのに加え、発掘は住居跡、倉庫、その他の建物を伴う居住区、水田域から成る集落を明らかにした。それは弥生人が水稲農耕民であるというイメージを確立した。また、発掘は日本考古学協会の設立につながったので、登呂遺跡は日本の戦後考古学の始まりを象徴している。